

One for Children. All for Children

久我山青光学園

学園便り 2月号

校長 宮田 守

令和8年1月30日発行

明日に向けて

副校長 月崎 泰照

日頃より、本校の教育活動について御理解・御協力を賜り、ありがとうございます。年が明けて一か月、視覚障害教育部門では、中学部3年生が高等部、高校進学に向けて、最後の仕上げに熱心に取り組んでいる様子でした。それぞれの生徒が自分の目指す進路に向け、面接練習では自分の思いが志望校に届くよう、熱のこもった練習を続けてきました。その頑張りが良い結果となるよう、切に願っております。

先日の授業参観では、たくさんの皆様にお越しいただき、子供たちの日頃の学習の様子を御参観いただくことができました。参観されて、お気づきのことや疑問に思われたことなどがございましたら、ぜひ遠慮なくお知らせください。ありがとうございました。

学校では、そろそろ今年度1年間のまとめに向けて、様々なことが「締め」に向かうのと同時に、令和8年度の教育活動に向けた準備も着々と進めているところです。年間での学校としての取組や学校行事や校外活動などについての検討が最終段階を迎えようとしています。各御家庭からいただきました学校評価アンケートの内容を踏まえ、学校として取り組むべき課題の解決に向けて、様々な計画を練っています。一人一人にとって、より良き教育活動となりますよう進めてまいりますので、今後とも御理解と御協力の程よろしくをお願いいたします。

ここ数日で冬らしい寒さが続いています。日本海側では大雪の地域もあると聞いています。関東平野はしばらく降雨がなく、空気が乾燥した状態が続いています。暖房器具や火の取扱いには十分注意しながら、引き続き体調管理に気を付けて過ごしてまいりましょう。

生活指導部より「防災学習」について

視覚障害教育部門 主任教諭 大谷尚毅

12月18日（木）に、両部門の小学部1年生、4年生、中学部1年生を対象に、防災学習（煙体験）を行いました。

冬の時期は空気が乾燥し、暖房機器の使用も増えるため火災が発生しやすくなります。火災から身を守る方法を知ることが目的として、今回の学習を実施しました。

当日は、世田谷区の烏山総合支所地域振興課の防災担当の方が来校していただき、ライトコートに煙体験のテントを設置してくださいました。テントの中は、人工の白い煙（安全な食品添加物として認められている成分による煙）が発生して、火災の状況を再現しています。

学習では、烏山総合支所の方のお話を聞き、煙体験を行うという流れで実施しました。参加した児童・生徒は“ハンカチで口と鼻を守る”、“なるべく姿勢を低くして歩く”、“壁を探して壁をつたって移動する”など、教えていただいた方法を実践して、テントの中での避難行動を行うことができました。

地震や火災などの災害は、いつ起こるかわかりません。避難訓練や防災学習を通して、災害が起きたときの備えをしていきます。

知的障害教育部門 進路指導部

主幹教諭 藤野 絵里子

令和7年度も残すところ2か月となりました。小学部6年生・中学部3年生は卒業に向け「中学部・高等部へ向けて」という意識が高まってきている頃かと思います。また、他学年の児童・生徒は、新学年に向け大事なまとめの時期を迎えています。

さて、進路からは高等部進学へ向けて今から取り組んでおくという良いことを御紹介します。

高等部に入学すると、すぐに高等部卒業後へ向けて現場実習等が始まります。小学部時代には高等部、中学部時代には高等部卒業後の進路と2歩先の進路を見据えて、どのような進路選択があるのかを早い段階から知っておくことが大切です。進路に関する講演会や研修会等へ積極的に参加することや、高等部や居住地の福祉施設のイベントや見学会等に足を運んでみる等、情報収集を行い、将来の進路のイメージを膨らませることが大切です。進路指導部からも来年度以降、進路について相談できる場を設定することや、進路便りを通して進路指導に関することや卒業後の進路についての情報をニーズに合わせて提供できるようにしていきたいと考えております。

一日一日を大切に、お子さん一人一人の進路のイメージを本人・家庭・学校で共有及び連携を取りながら、その子に合わせた進路選択・進路の実現を目指していけるよう引き続き指導に努めてまいります。